

新山協ニュース

▲ 発行者 平田大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

高体連登山部春季大会 上越地区大会報告(米山)

柏崎工業高校スキー山岳部
外山 勝平

地元の人々に大変親しみをもたれている『米山さん』を会場に、柏崎地区が3年ぶりに当番校として、春季上越地区大会を5月10日・11日の2日間開催しました。参加校は7校・74人の参加者でした。前回の91年は11校・109人、88年は9校・120人と比べ、やや寂しい大会となりました。多くの学校で部員の減少が見られ、休部状態になっている部もあることは、大変残念な事です。

さて、米山を大会会場とした場合、幕営地は『柏崎国民

おめでとう
青海省
野牛山 4898.3 m
16名全員
8月4日登頂

休養地』しかなく、登山コースはここが出发点となります。そして、米山で最も長い『谷根コース』に登りのルートになる。今回も検討を重ねたが、登りは『谷根コース』やむなしとし、下りは下山後の舗装道路が辛い『大平コース』を変更して、『吉尾コース』を下り笠島駅に出る事にした。このコースも長いが、吉尾からは用水路沿いの静かな山路であること。上輪新田からは海岸線を通る鉄道跡の『海岸遊歩道』が快適なコースであり、全体的に変化があり、登山大会として楽しめるコースではないかと考えました。

休養地』しかなく、登山コースはここが出发点となります。そして、米山で最も長い『谷根コース』に登りのルートになる。今回も検討を重ねたが、登りは『谷根コース』やむなしとし、下りは下山後の舗装道路が辛い『大平コース』を変更して、『吉尾コース』を下り笠島駅に出る事にした。このコースも長いが、吉尾からは用水路沿いの静かな山路であること。上輪新田からは海岸線を通る鉄道跡の『海岸遊歩道』が快適なコースであり、全体的に変化があり、登山大会として楽しめるコースではないかと考えました。

登山形式は、今回も参加校数が少ないので幕営地から各校単位で登り、11箇所の要所で通過を確認する『チェックポイント方式』としました。

今年には雪融けが遅く、有名な『鯉形』がなかなか現れませんでした。事前踏査は家族サービスを犠牲にして5月5日に行い、残雪が多く倒木で歩きにくい赤岩ノ頭・熊野権現にルートをつけた。

さて、大会1日目。集合は柏崎国民休養地。無人駅の青海川駅下車後、民家の脇の急な道を登り国道に出て、国民休養地に向かう。管理事務所前の駐車場で15時30分から開会式を行い、その後幕営・夕食準備にかり、顧問会議は新しい『ログキャビン』で開いた。幕営は北陸自動車道から離れた北サイトとした。春の大会は1年生が参加する初めての大会であり、各校の交流を目的としているので、今回もキャンプファイヤーの交歓会で各校の交流を深めた。

『柏崎国民休養地』はトイレ・炊事棟・ファイヤーサークル等各種の設備が整っており、快適なキャンプ生活が楽しめる。また、駐車料金を払えばバンガローの近くに車を乗り入れる事もでき、便利になった。さらに、バーベキューサイトも新しく建設され、7月に完成した。家族連れ等

には、近くて気軽るに楽しめるキャンプ場であると思う。2日目、起床3時30分。穏やかな天気恵まれ、出発時間の5時から各校とも元気に幕営地を出発した。谷根の新猿飛橋で各校が全員集結し、ここから同行する救護の看護婦さんと合流した。橋を渡り、前山まで標高差500mの急登を約50分で登る。途中の眺湖台からは、谷根ダム・赤岩ダムの眺望がすばらしく、2つの湖を眺めながらしばしば息を整える処である。前山までは苦しい急な登りだが、ここからは緩やかな尾根になり、わずか15分で白蛇ヶ池に到着する。

移動本部の無線から、各校とも順調に登っている様子が伝わってくる。一方、幕営地ではメインザックを閉会式で行う笠島駅にトラックで運搬し、補助役員が炊事場等の見回りをした。今回はゴミの処理も良く、後片付けがきちんとなされていた。このキャンプ場では、ゴミを分別して処理できるので大変助かるが、当番校の生徒からは『登山大

技種目・種別成績表

登攀競技 (R)						種別成績			
得点	順位	技術得点	時間得点	所要時間	減点	種目順位	種別順位	種別得点	備考
100.000		20	80.000	分:秒		合計			
100.000	1	20	80.000	9:41		4	1	37.5	
20.000	2	20	中断	:		4	1	37.5	
18.000	3	20	中断	:	2	7	3	30	
100.000	1	20	80.000	1:50		6	1	35	○
80.273	2	20	60.273	2:26		6	1	35	
73.696	3	20	55.696	2:38	2	6	1	35	○
55.772	4	20	35.772	4:06		9	4	25	
						6	3	30	
						8	4	25	
						4	2	35	○
						2	1	40	○
						5	2	32.5	
						5	2	32.5	
						8	5	20	
						4	1	40	○
						7	4	25	

会なのだから、ゴミは持ち帰った方がよい」との意見が出された。

9時。先導が米山山頂に到着した。幕営地から4時間15分の登頂である。その後、各校が次々に登頂したが、A校が熊野権現から不調になり、時間がかかったが、11時45分

頭張ってついに山頂に着いた。用水路に沿って『上輪新田』しかし、疲労が大きい為、柿崎側の林道に下りてもらい車で迎えに行った。

山頂の憩いを楽しんだ後、11時をめぐにそれぞれ下山した。地図から地名が消えた、『吉尾』まで1時間10分の下り。そして、清らかに流れる『笠島駅』に急ぐ。A校の生

徒も回復し、元気に海岸遊歩道を歩いた。

下りのコースも長く、帰りの電車時間を気にしながら閉会式を終了した。天候にも恵

第15回北信越国体山岳競技会報告

国体委員長 森 庄 一

7月29日/31日、石川県で開催された。本県は少年の部のみのエントリーであった。結果は別表の通りであるが、少年男子については、石川県がダントツの1位。本県は縦走で42秒差の3位、踏査で定点1個の差でこれも3位、惜しくも本国体の代表権を逃した。

少年女子については、縦走で1位と2分10秒差、2位と58秒差の3位。踏査では定点満点ながら時間が8分46秒差で2位となり、こちらも本国体の代表権を逃した。

成年の登攀競技はオンサイトトップロール方式を採用した事により技術

がそのまま結果に現れたようである。

この度の北信越国体に出場された選手、監督の皆様大変ご苦労さまでした。

今年の失敗点を反省し、来年の活躍を期待します。

また、審判、競技役員として大会の運営にご協力願った皆様、物心両面からご援助くださった皆様に厚く御礼申し上げます。

成年の登攀競技はオンサイトトップロール方式を採用した事により技術

連絡

愛地国体現地合宿
10月11日～14日
10月17日～21日
協力できる方
☎ 0257-23-5820
森 まで

第15回北信越国民体育大会 山岳競

期 日 平成6年7月29日～7月31日

種 別	種 目	縦 走 競 技 (T)					踏 査 競 技 (S)					
		得 点	順 位	時 間 得 点	特 区 間 所 要 時 間	減 点	得 点	順 位	定 点 得 点	時 間 得 点	所 要 時 間	減 点
	配 点	100.000		100.000	時:分:秒		100.000		80	20.000	時:分:秒	
成年男子	新潟				: :						: :	
	長野	0.000	1	中 断	: :		86.998	2	72	14.998	1:41:26	
	富山				: :						: :	
	石川	0.000	1	中 断	: :		92.000	1	72	20.000	1:16:04	
	福井	0.000	1	中 断	: :		62.518	3	48	14.518	1:44:47	
成年女子	新潟				: :						: :	
	長野	100.000	1	100.000	1:37:25		79.191	4	64	15.191	1:58:36	
	富山	0.000	2	中 断	: :		99.362	2	80	19.362	1:33:03	
	石川	0.000	2	中 断	: :		100.000	1	80	20.000	1:30:05	
	福井	0.000	2	中 断	: :		82.406	3	64	18.406	1:37:53	
少年男子	新潟	87.297	3	87.297	1:32:46		79.915	3	64	15.915	1:25:56	
	長野	0.000	4	中 断	: :		75.771	4	64	11.771	1:56:11	
	富山	87.961	2	87.961	1:32:04		85.899	2	72	13.899	1:38:24	
	石川	100.000	1	100.000	1:20:59		100.000	1	80	20.000	1:08:23	
	福井	0.000	4	中 断	: :		40.000		40			
少年女子	新潟	98.140	3	98.140	1:56:33		96.480	2	80	16.480	1:55:49	
	長野	0.000	4	中 断	: :		97.829	1	80	17.829	1:47:03	
	富山	0.000	4	中 断	: :		82.396	4	64	18.396	1:43:45	
	石川	100.000	1	100.000	1:54:23		92.000	3	72	20.000	1:35:26	
	福井	98.961	2	98.961	1:55:35		72.019	5	56	16.019	1:59:09	

中高年登山者に

日本山岳会会員

山村 正光

最近、山登りを楽しむ中高年者が多い。この人たちは、大きく3つに分けられそうだ。若い時から、ずっと登り続けている人。仕事が忙しく、心ならずも山行を中断、再び戦列に復帰した人。リタイア後、健康のため山登りでもしようかと始めた人。

一番多いのは、この最後のグループの人たちである。歩くことなんて生まれて1年くらいからずっとやっている。慣れたものだとは腰をあげる。

とはいっても、どこへ登っていいのかわからない。そこに登場するのが故深田久弥先生の名著「日本百名山」。第一、題名がいい。最近では、百名山に登るガイドブックや旅行社主催の百名山

ツアードである。そもそも、山登りというのは、先輩のあとをたどり、先輩の肩に乗り、先輩を越えていくものである。いかなれば、真似をすることから始める遊びである。京大の故桑原武夫先生は「登山は人間の文化的行為」だともおっしゃっておいた。

たしかに、ただ登るだけなら人間よりカモシカの方がはるかに上手だ。せつかく、人間がやるのだから、カモシカにできない山登り、それは地図を読む、文献に当たる、記録を残す、写真を撮る、展望や山の花をめぐるなどいろいろの楽しみ方がある。

山に登って帰ってきて、覚えていたのは、足元の石ころだけだったのではあまりにも味気ない。山を楽しむとなれば、心にも体にも、時間的にも相当な余裕がなければ、ちよっと無理。まさに文化的行

為というべきだ。

何事も、習熟するためには、基本というものがある。その基本をマスターしないまま山に登る。怖いものしらずなのである。

身にふりかかる危険を察知できない。本来、人間も動物である。となれば、本能的に分かるはず。ところが、現代人は動物的カンが退化してしまった悲しい動物である。

さて、登った山は下りてこなくてはならないのが登山の宿命。「往(い)きはよいよ、帰りは怖い」ということわざがある。山登りとはいわが、本当は山下りである。登りは、だれでも結構登ってしまう。下りになると、そうは問屋がよろしてはくれない。

わが足にしてわが足にあらざる。多くの人が経験済みのことである。その上、くたびれてきている。厳密には、登りと下りでは、靴ひもの締め方も違うのである。

山の下りでは基礎体力、トレーニング、経験などの差が歴然と表れる。一番酷使するひざの油切れを起こしている

中高年なればなおさらのこと、下りはこたえるものだ。

これで天気でも悪かったら、泣き面にハチで、事故が起きても不思議ではない。他人の言うことは聞かない。頑固者、思い込んだら命懸け——。これが中高年齢者の共通の性(さが)ときているから、ますます始末が悪い。

昔から「無理が通れば道理がひっこむ」といわれている。健康のために山登りをするのではない。楽しいから山に登

る。今さら、ねじり鉢巻き、まなじりを決して、むきになつて山登りをする年でもあるまい。

栗ヶ岳にかくれた山 宝蔵山・権ノ神岳 加茂市

遠くの山、険しい山、山高きが故に尊からず、幸い、甲州には楽しく登ることのできる手ごろの山がたくさんある。このような恵まれた立地条件の中に今、私たちは立っている。ふるさとの山々、ありがたきかなとしみじみ思う。(山梨日日新聞より)

宝蔵山(897m)権ノ神は橋立へ1時間、宝蔵山へ登り(1122・4m)は、加り40分、下り30分です。上高柳バス停より分岐まで1時間15分です。また中大谷バス停から林道、十二山ノ神、尼池山、前宝蔵下、宝蔵山頂上まで3時間20分です。

権ノ神岳へは小乙部落、小林道、旧小乙鉾山、山ノ神、自家用車利用が良いかと思分岐へバス停より1時間30分、橋立へ30分、柴倉山、長坂、タムシバ、椿が咲き、5月中旬6月初め、姫サユリ、山ツ

ツジ咲き、秋ナナカマドの実が赤くなり、登山道も毎年整備しておりますので、悪路もなく標識も多く有ります。とくに小乙からの道は歴史の道です。石仏、鉾山跡、石段、石切場などが見られます。水場は山中に3ヶ所道脇に有ります。白山、栗ヶ岳の裏方が河内山塊になります。そこは熊の生息地帯なので、この両山に登山する時は、笛、鈴など音の出る物を携帯してください。今年には熊が現われております。両山の登山道は入山者が少ないので、ゴミはなるべく自然良好で快適な登山が楽しめます。

奥早出栗守門自然公園

パトロール員

横山 克成

刊行物紹介

映彩山岳会『岳神』 第14号 発行

映彩山岳会、会長井出秀雄氏におかれて、この度会報岳神第14号を刊行された。同会創立40周年の記念誌でもあるB5版224頁からなる会

報は、昭和61年から平成3年までの6ヶ年の山行記録を収録し、合宿山行、月例山行、個人山行と山行領域が広い。圧巻は、同会が飯豊連峰を30年余、地域研究の場とし、ホームグラウンドとしてきた集大成の記録である。

事務局変更

五泉山の会
〒956-116
五泉市木越1131-8
長谷川 功 様方

登山用品専門店

信頼できるパートナー

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736